

「友だちって何だろう」

大分県中津市立津民小学校 校長 山香 昭 氏



参加した生徒の感想（一部抜粋）

- 友達について、今まであまり深く考えたことはなかったですが、アンパンマンの話もふまえ、友達とは自分の本音が言え、互いに助け合える仲の人なのかなと思うことができました。
- 「うれしいことは2倍、悲しいことは半分」という言葉が自分の心を動かしてくれました。こうやって友達と意見を交流しあうことで新たな意見や自分の心を動かしてくれるものと出会えて良かったです。
- 山香先生の明るい話し方や、切り替え方がとてもすてきで、周りの人も明るくできる太陽みたいな人でした。自分も先生のような人になりたいです。
- 先生が言っていた「虫の目のように近くで見ること、鳥の目のように遠くで見ること大切」という言葉が心に響きました。
- 私は講演会で話を聞く前より、たくさんの視点で見れるようになったなと思いました。本当の友だちとは意外と近くにいることだと、聞いたあとに一人で思いました。
- 自分と同じ意見の人と話すのはもちろん楽しかったが、違う意見を聞くのもすごく楽しかったし、学ぶことができました。また友達について一緒に考えることで、もっと関係を深められたと思います。今回の講習で、みんなの前で発表をした人がすごいなと思ったので、自分もそのような人になりたいと思いました。



ぽけっと市&展示会

10月13日と11月3日の2日間、就労継続支援B型事業所ぽけっとで「ぽけっと市&展示会」が開催されました。会場では、色鮮やかな種々の花が販売され、利用者の方が何年もかけて作ってきたちぎり絵や刺しゅうなどの作品がたくさん展示されていました。また、ちぎり絵を使って缶バッジやマグネットを作るワークショップもあり、多くの人で賑わっていました。



「新しい時代の子育て！～今注目の「非認知能力」とは？～」

倉敷市親プロチーム ファシリテーター 小林 美保子 氏 佐伯 智子 氏

参加した保護者の感想（一部抜粋）

- 今回の講演をきいて、子ども達の表面的な行動に対しての声掛けをするのではなく、子どもの意欲やそれまでの過程を踏まえた声掛けをすることができるようになりたいと感じました。
- 最近はSNSやYouTubeなどメディアから情報を入手する時代で、人と人との会話する時間が減っているように感じます。子どもとも、つい片手で話している時があるので、リフレーミングや非認知能力を意識して会話することで、子どもの成長を伸ばしていけたらと思います。
- ほめて伸ばすことが良いと思っていましたが、ほめ方もいろいろな言い方があることに気付きました。いつもはこんなに考える時間も機会もなかったので、とても良い経験ができました。
- わが子の良いところをもっと伸ばすような声掛けが知れて良かった。家でもそのような声掛けができるよう心掛けていきたいです。短所も長所に変えるような声掛けがたくさん知れました。



横断幕を リニューアルしました

新しくなった人権学習推進委員会の横断幕を、多津美公民館と多津美中学校に設置しました。多津美中学校では、生徒たちが協力して、学校のフェンスに取り付けました。皆さんも近くを通った際には、ぜひ横断幕をご覧ください。



生徒のみなさん
ありがとう！



第40回 多津美公民館文化祭で「スタンプラリー」を実施

11月1日と11月2日の2日間、多津美公民館の文化祭が開催されました。今年は人権活動展示コーナーのほか、人権スタンプラリーを行い、来館した方々に、数種類のユニバーサルマークについて知っていただきました。

